

地震・津波について知ろう!

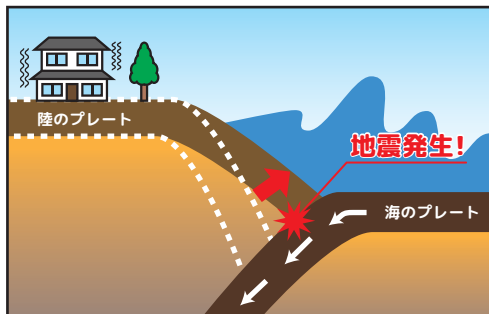
■地震の種類と起こり方

※気象庁HPより

地震とは、地下の岩盤が周囲から押されることによってある面を境としてずれる現象のことをいいます。この岩盤のずれが起きると地震波が周囲に伝わり、やがて地表に達すると地表が「ゆれ」ます。私たちはこの「ゆれ」で、地震が地下で発生したことを知ります。

プレート境界の地震

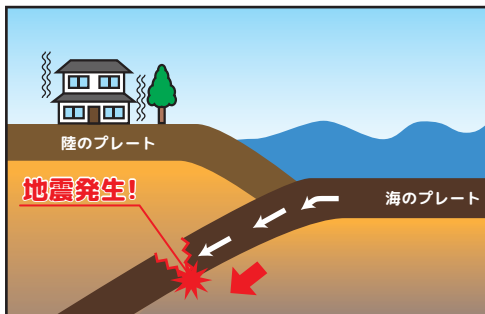
発生例：2011年 東北地方太平洋沖地震
(東日本大震災の地震)



海のプレートが沈み込むときに陸のプレートを地下へ引きずり込んでいきます。陸のプレートが引きずりに耐えられなくなり、跳ね上げられるように発生する地震です。

沈み込むプレート内の地震

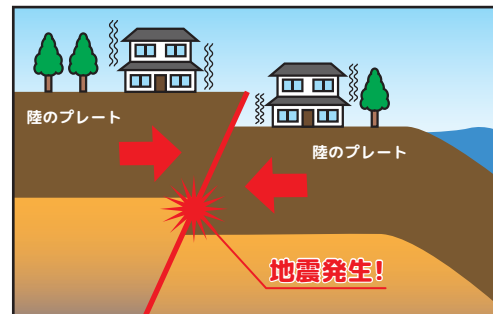
発生例：2001年 芸予地震



地下へ沈み込む海のプレートの内部に力が加わって発生する地震です。

陸域の浅い地震

発生例：1995年 兵庫県南部地震
(阪神・淡路大震災の地震)

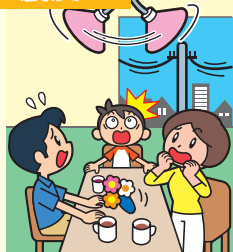


陸のプレート内部に力が加わって、プレートの浅いところで発生する地震です。

■震度とゆれの状況

※気象庁HPより

震度4



- ほとんどの人が驚く。
- 電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。
- 座りの悪い置物が、倒れることがある。

震度5弱



- 大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。
- 棚にある食器類や本が落ちることがある。
- 固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。

震度5強



- 物につかまらなさと歩くことが難しい。
- 棚にある食器類や本で落ちるものが増える。
- 固定していない家具が倒れることがある。
- 補強されていないブロック塀が崩れることがある。

震度6弱



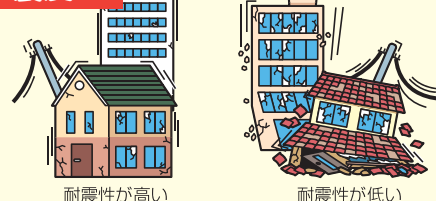
- 立っていることが困難になる。
- 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。
- 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
- 耐震性の低い木造家屋は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。

震度6強



- はわないと動くことができない。飛ばされることもある。
- 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。
- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが増える。
- 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。

震度7



- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが増える。
- 耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。
- 耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが増える。

震度とマグニチュードの違いとは？

マグニチュードは「地震の大きさ(規模)」を示し、震度は「地震によるゆれの大きさ」を示すものです。

電球に例えると…

光源 ⇒ 震源
ワット数 ⇒ マグニチュード
明るさ ⇒ 震度 (揺れの強さ)



光源 = 震源
ワット数 = マグニチュード

明るい (震度強)

暗い (震度弱)